

2023年8月20日（日）メッセージアウトライン 「平和の福音がもたらしたもの」

聖書箇所：エペソ人への手紙2：11～22

タイトル：「平和の福音がもたらしたもの」

初めに：今日の聖書箇所の2：17に「キリストは来て、遠くの人々にも近くの人々にも平和を福音として伝えられた」とある。平和の福音は私たちに何を与えようとしているのだろうか。

平和の福音とは、イエス・キリストを信じる信仰によって罪赦され、神との敵対関係が解消され、キリストの新しいいのちをいただいた者が、神との新しい関係が開かれたことを意味すると同時に、キリストにある者として他のキリスト者と兄弟姉妹の関係に入れられ、キリストにある共同体の一員として、互いの中に平和な関係、愛の関係を築き上げて、神が創造の初めから意図されていた神の子どもとしての生き方を回復するためにもたらされたものである。

「平和」という言葉の持つより深い意味を考えながら、平和の福音がもたらしたものを私たちが体験できているか、私たちの教会がイエス・キリストの共同体として、主が願っておられる姿に向かって前進出来ているかどうかを確認してみよう。

1. 「平和」という言葉の持つ意味

①日本語で

第2次世界大戦の敗北の結果として、「平和」という言葉を口にするとき、日本人が思い浮かべているのは「戦争のない状態」「泰平の世」のことだと思われる。

②ギリシア語で

新約聖書はギリシア語で書かれているが、平和、平安を「エイレーネ」という言葉で表現している。

ギリシア語の限界として「平和」とは主として、心理的、霊的な調和、あるいは心の秩序が整えられている結果、表わされる静かな態度と穏やかな感情を意味する。

③ヘブル語で

旧約聖書は大部分がヘブル語（一部アラム語）で記されているが「平和」は「シャローム」という表現である。

これは神と人間との関係を理解するために大切な言葉である。霊的な面と物質的な面の両方を含み、人間の福祉、健康、幸福の全体に及ぶ言葉である。

すなわち、人と人との間、また、人と神との間に健全な関係がある時に実現する「幸せな状態」を意味する。

ユダヤの視点からは、人々が神のみ旨に従って生きるときに「平和（シャローム）」は生まれる。ヘブル語の考えからすれば「平和」「正義」「救い」は同義語と言える。

2. 平和の福音がもたらしたもの（エペソ 2 : 13 ~ 22）

① 神の恵みとしての救い

パウロは人の救いは神からの恵みによると語る。

律法の民と誇っていたユダヤ人も、律法とは関係のなかった異邦人も等しくイエス・キリストを救い主として信じる信仰によって救われるのである。いずれも神の前には罪人であり、神の側が救いの手を差し伸べてくださらなければ、誰も救いに与れない。これこそ神からの一方的な賜物（恵み）による救いである。

② 敵意は廃棄された

* 神と人との間にあった敵意（人間の側の反逆）

* 人と人との間の敵意（神に反逆している人間は、他者を愛することができない）

* イエス・キリストの贖いのみわざによって、ユダヤ人も異邦人も一つとされ、キリストの体に属する者とされ、キリストにあって神の家族とされたのである。すなわち、教会というキリストの共同体の一員とされたのである。

③ 新しい共同体の特徴（平和の共同体）

* 人間を隔てている区別はなくなる

イエス・キリストにあって、皆が等しい神の家族なのである。各自が聖霊の内住をいただき、教会全体は聖霊の共同体として、神との真実な交わりと人間同士の真実な交わりを回復していく。そこにあるのがシャローム。

* この共同体の土台は使徒たちや預言者たち、そしてキリスト・イエスが要石（礎石）である。土台がしっかりしている建物は、聖霊に導かれた人々がしっかりと互いに組み合わされて聖なる宮として成長する。そこは神のご臨在がある。

④ 初代教会が持っていた新しい共同体の特徴（使徒の働き 4 : 32 ~ 35）

* 「さて、信じた大勢の人々は心と意思を一つにして、だれ一人自分が所有しているものを自分のものと言わず、すべてを共有していた。」（32節）

・ 彼らは自己中心から解放された

・ 彼らはすべてを共有して分かち合った

・ 平和をつくる者に変えられた 「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです、」（マタイ 4 : 9）

3. 結論

① 平和の福音がもたらしたもの——→「シャローム」

* 神と人との関係の回復 * 人と人との関係の回復 * 社会全般における安全、無事、健康、福祉の実現。以上は、神が天地創造の時に意図された神の秩序の回復を示す。

② 私たちは平和の福音を生きる共同体（聖霊の共同体）

③ 最後に週報に毎週記載されている日本基督教兄弟団の特徴を読ませていただく。神の願っておられる神の秩序の回復のために前進して行こうとする決意表明である。